



# サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.180

2018年7月17日

九州支部長 T.Y.

梅雨も明け、蒸し暑い日々が続いています。皆さまお元気でお過ごしでしょうか？  
日頃はサーバス活動にご理解、ご協力ありがとうございます。  
先日来の長雨で全国各地で甚大な被害が出ています。皆様の地域では大丈夫でしたでしょうか？被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

九州支部では4月21日（土曜日）に支部会議を行いました。（佐賀グランデはがくれにて14時～16時）宮崎、熊本、長崎、福岡、佐賀から11名参加されました。2017年度の活動報告、会計報告のあと今年度活動計画、予算計画、各支部および会員の活動や近況などを話し合いました。17時～19時までは同じグランデはがくれで親睦会をしました。サーバス談義に花が咲き楽しいひと時を過ごすことができました。遠い所からのご参加ありがとうございました。



また、支部では6名の女性会員で6月22日から28日までインドネシアへサーバス旅行をしました。インドネシアの会長のAさん初め4名の会員の方々とそのご家族にお会いしました。その時のことは「サーバス旅行レポート」に載せています。どうぞご覧ください。

サーバス九州支部会報180号（2018年7月号）をお届けします。  
掲載している内容は以下の通りです。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 九州支部会議が開かれました | 2. 秋例会のお知らせ    |
| 3. サーバス旅行レポート    | 4. 九州支部会員情報    |
| 5. 九州支部からのお願い    | 6. 九州支部連絡先（常掲） |

## 1. 九州支部会議が開かれました

1. 日本サーバスの財政一本化について  
3月の国内会議で「支部によっては会員数も少ないため、思った活動もできないでいるが、支部

会計が潤沢で繰越金が多いところがあるのはサーバスとして不平等である。財政を一本化し、本部が全て掌握すれば、どの支部に対しても平等に活動が保障できる。」

という提案がされました。

それに対して、

1. 財政を本部に一本化することは本部権限が極端に強まり、自主財源のない支部は徐々に活動が停滞するのではないか、
  2. 予算配分は誰がどのように行うのか。
  3. 会員からの年会費(3,000円)のうち1人860円を本部会計に納めていますが、その額を増やすことにより、支部も本部も今の財源で十分にやっつけていけないのではないか。
  4. 財政規模が小さいところに対しては補助金等の支援の仕方もある。
- などの意見が出され、各支部でも検討するようにとのことでした。

この一本化とは各支部が持っている繰越金(九州支部は約44万円)も本部に納めるという事で九州支部会議参加者ほぼ全員から下の様な反対意見が出されました。

- 繰越金は今までの支部及び会員の努力と誠意の結果なので自分たちの会計、繰越金は自分たちで保っていききたい。

2. 韓国ソウルで3年に一度のサーバス国際会議が開かれます。

日 時：2018年10月13日～10月20日

3. インドネシアへサーバス旅行を行いました。

2018年6月22日から6月28日まで

## 2. 秋例会のお知らせ

日 時： 2018年11月17日(土)～11月18日(日)

場 所： 鹿児島県

お昼過ぎに浦生(かもう)観光交流センターに集合、椋鳩十(むくはとじゅう)文学記念館や日本一の大楠、昔の街道跡など散策。

(お昼前に集合し古民家カフェにてランチもできます)

翌日は秋祭りへ行き自由解散。出店が立ち並び伝統芸能の舞台などがあります。

鹿児島県の会員のF.S.さんがお世話をさせていただきます。

後日、詳しいお知らせと参加者を募ります。どうぞ皆様お出かけください。

### 3. サーバス旅行レポート

#### 1. オーストリアサーバスの旅 その 1. 2018年6月9日～6月19日

佐賀県会員 H.S.

私たちのサーバスの旅のスタートは S さんのチケットとりから始まります。そして、支部長にホストリストをお願いし、ステイ先を年齢、趣味、場所から選んでメールのやり取りで決めます。今回は、SOL を使って苦労しつつ連絡を取りました。お陰で使い方が少し分かったかな。返事がこないとホスト探しは大変ですが、OK メールがくるとホッとします。結構私は確率高いと思ってます。

さて、今回は 10 日間のうち 4 泊 2 軒に泊まることにしました。しかも、ウィーンの空港で 2 名ずつ別れ行動です。Y さんたちと別れ、空港から市内まで移動しないとイケません。3 通りありましたが、一番安いチケットを買い一番速い電車に乗ってしまったわたしたち。車掌がチェックに来たので、「ごめんなさいこのチケットしか持ってません」と、優しい声で「next buy」でパスしてくれました。

ホテルは中央駅のすぐ近くでしたが、一番遠い駅で降りたから大変。S さんのナビで 1 時間近く歩き夜 9 時頃到着。ところがそのホテルがホテルらしくありません。集合住宅の鉄の観音扉でした。それは、民泊のようなもの、「無気味ね」「変ね」で一晩過ぎました。旅行後は幽霊ホテルと呼んでいます。

次の日、ホストとベルベデーレ宮殿で会いました。E さんはサーバスに関わること数十年、トラベラーは 300 人以上受け入れているとのことで、無駄なく私たちに歴史地区を説明してくださいました。途切れることなく話されるので、トーキングおぼつかない私たちは喋る場面ほとんどなくよかったです。「翌日はどこに行きたい」と聞かれたのでセメリングと答えたら、セメタリーと聞こえたのか地図を見せて墓地はここらへんよと。やっと世界遺産セメリング鉄道と共通認識できて大笑い。電車の乗り方、チケットの買い方の説明を受けホスト宅へ着きました。

パンプキンスープとパンのランチ後、シェーンブルン宮殿にご案内。入り口までついて来て中の説明を受け別れました。以前見てたので、庭だけ見てカフェに入って飲んだビールが美味しかった。夜はマリリンクヌードルという E のお母さんがよく作ってくれたというおふくろの味でした。それは杏 1 個をパン生地地で包み茹でてブラウンパン粉をまぶしたもので、初めての味でした。是非オーストリアに行ったらトライしてみてください。夕食後も、たくさんたくさん話されました。ボランティアや地球環境など深く関わり行動している方で頭が下がりました。

2 日目 E は孫のベビーシッターですが、心配な私たちのため駅のホームまでおくりに来てくれました。セメリングのハイキングは最高でした。コース 11 キロほどですが数人の人しか会わず、望み通り、期待した景色、鉄道の鉄橋と自然との 調和に圧倒されました。世界で最初のアルプス越えの鉄道というだけに歴史を感じました。途中のカフェでビールのんでオーナーのアドバイスを聞き次駅まで歩いたら、本当に息を呑むほど圧倒される景色でした。歓声あげて喜んだのもつかの間、オーナーが時刻表まで見せてかえりの列車を教えてくれたのにその時刻表にはありません。線路工事のおじさんつかまえて話したら、バス停まで連れてってくれました。美しい村ですが人がいません。

不安でしたが、四人来たのでホッとしました。来たバスはバンタイプでバスとは言えないものでした。降りる時、代金を渡そうとすると、いらぬいらぬといひます。結局 100 円もなかつたコインを渡しバス代としました。レイルパスのバリデーションも電車の中で頼めば、駅で見せてと言われ帰りも同じ様に言われ無銭乗車でこの日は終わりました。夜は 日本食(持ってきたラーメン)と途中のスーパーで買った寿司で豪華？日本食でした。ラーメンは好きだったので残ったスープは捨てないで明日食べるよと言ったのでラーメンは誰でも好きのようです。その夜も、E の話はよどみなく、コロンビアが好きで何度も行っているとのこと、アートや音楽、暮らしなど話はずきませんでした。

次回に続く

## 2. オーストリア、スロベニアへの旅

佐賀県トラベラー会員 Y.K.

6月9日から10日間、3人の佐賀のサーバスメンバーさんの旅にサーバストラベラーとして参加できました。スタートはオーストリアの首都、ウィーンから。ホームステイは2組の別行動です。私たちはホストの58歳看護師の女性の空港での出迎えを受け、そのまま地元のコミュニティホールでの音楽会へ、地域の人々とのふれあいを体験できました。

また、ホストは菜食主義者で瞑想の時間を持つなど自然派？かな。会話も環境問題、原発、福島にまで及びました。う～ん！会話について行くのがやっとでした。

6月12日、4日目から地方のケルンテン州へ。

オーストリア連邦、最上位の高速長距離特急列車(RJ)で4時間ほどかかりました。

ステイ先は小さい村です。ホストファミリーはドイツ人のご主人とオーストリア人の奥様で、奥様は英会話を学習中とのこと。ゆっくりの会話で私にはラッキー！でした。

ご主人の手造りのコテージは海拔1000メートルの山の中腹に。まさか、アニメ「アルプスの少女ハイジ」の世界に自分を置くことができるとは・・・の大興奮の一日でした。ご主人の焼いたパン、奥様の家庭料理は最高でした。

6月14日、途中の駅で合流してここから4人の旅が始まりました。

なんと、一人のメンバーさんの右腕は石膏で固められていました。城壁を見学時に足を滑らせ骨折、腫れと痛みが・・・でも彼女の表情は明るく、健気でした！

スロベニアの首都リュブリアナ、日本人はあまり行かないとか。中心部は観光客でにぎわい、金曜マーケットの日でした。ここでの宿泊はゲストハウスです。4人で一部屋、トイレ、バス、キッチンが共有・・・若者のバックパッカー向け・・・価値ある体験でした。

6月16日、ウィーンに戻り、中心地のホテルに宿泊。この日はLGBT活動応援のパレードが市中を大音量の音楽、踊り、衣装で行進。面白かったですよ～！

18日、無事に帰国。メンバーさんに支えられ、貴重な経験ができました。感謝でいっぱいです。

### 3. 九州支部でのサーバス旅行（インドネシア）

長崎県会員 A.A.

昨年秋の例会で、何人かの会員さんが「Oさん、旅行の計画たててえ」とお願いされていて、本当にインドネシア旅行が計画されました！私もインドネシアに一人で行くのは怖いので、直ぐに飛びつき、計6人で6月22日から28日まで行ってきました。

福岡からシンガポール経由でジャカルタに着き、そこから国内線で最初の目的地のソロへ。とてもスムーズでしたが、ソロ行きがなかなか案内されず、2時間も待ったところで、カウンターに発砲スチロールに入ったお弁当が山盛り届き、周りの人たちがそれをどんどん取りに行っているの、私達も良いのかなあと貰っている人をジーンと見ていたら、取っ払いと云う仕草をされたので、取りに行きました。2時間以上待たせるとこのようなサービスがあるそうです。それから30分ほどして飛行機も飛びました。

ソロでは空港でその私達を2時間以上もホストの方が待っていて下さいました。ホストのKさんは前に長崎に来られたことがあったので、お会いするのは2回目です。日本語も話せて、ソロで日本語を教えたり、日本とのビジネスをされているとおっしゃっていました。昔能登半島に3年ほど居られたそうです。

立派なホテルに連れて行ってもらい、そこを拠点にソロを観光し、2泊した後、ミニバスを手配して下さい、そこからジョグジャカルタへ行き、またまた立派なホテルに1泊して、王宮やボロブドゥール遺跡などを観光しました。ここでは日本語ペラペラのインドネシア人のガイドがついて、とても詳しく教えて頂きました。ボロブドゥール遺跡は世界3大仏教遺跡の一つなのですが、本当に素晴らしかったです。7~8世紀に建てられたそうですが、色々な壁画がとても細かく書かれていて、その一つ一つが今でも教えになっているような諺を示していました。

そこから、2時間ほどのドライブでインドネシアサーバスの会長さんがいらっしゃるアンバラワという所に行きました。会長さん、Aさんはゲストハウスをされていて、私たちはそこに2泊無償で泊めて頂きました。ずっとついて下さったKさんは私たちをアンバラワに連れて行って、帰られました。すごく寂しかったです。ミニバスは私達の為において下さいました。

Aさんのお宅には他のサーバスメンバー、Mさん（日本語に直せません）が来られていました。次の日はAさん家族、Mさんと朝早くに出発し、3時間ほど行った所にサーバスメンバーがお二人いらっちゃって、それぞれのお宅に5分ほどおじゃまして、その方々も加わって、ずっと

山を登った所の温泉地獄に連れて行ってもらいました。お風呂はなく、池がお湯でグツグツ沸いていました。帰り着いたのは夜10時前でした。でも、日本では見られない景色を眺め、他のサーバスメンバーのお家にも連れて行っていただき、かなり遠かったのですが、興味深い経験でした。

最後の日Mさんが地元の迷路のような市場に連れて行って下さり、すごく面白かったです。そこでインドネシアの香辛料を買いました。その後、普通のマーケットにも連れて行って頂いて、



お土産などを買いました。それからスマラン空港に行き、帰途につきました。インドネシアのサーバスの方々、皆さんが私たちを大歓迎して下さっている事がとても感じられて、こちらも感謝でいっぱいでした。

インドネシアでの感想は、思ったほど暑くなかったです。もっと、太陽の熱がぎらぎらしていて、汗がダラダラ出るのかと思っていましたが、少し汗ばむ程度でした。あと、インドネシアの人達はすごく働き者でした。ただ、今の生活をより良くしようとか便利にしたいと言う気持ちがありません。90%がイスラム教で、夜明け前にお祈りをささげたり、1日5回お祈りしたり、お酒も飲まなかったり、とてもまじめな国民だと思いました。危ないと思ったことも1度もありませんでした。本当に今回の旅行はなかなか味わえない貴重な経験でした。また、同行の皆様がお互いに協力し合い、とても気持ちの良い旅行が出来ました。本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。

#### 4. インドネシアへ行ってきました。

大分県会員 Y.K.

正式にはインドネシア共和国、人口は2,611億人。通貨はルピア、1,000ルピアは8円。

6月22日

私達6人は最初シンガポールへその後、ジャカルタを経由して中部ジャワ島のソロ市へ。

ソロ市は以前日本で流行った歌で有名です。題名は分かりませんが、歌は、♪ブンガワンソロ〜で始まります。

ジャカルタ発の飛行機✈️が2時間以上遅れたためソロ市に着いた時には夜11時を過ぎていました。インドネシアサーバスのKさんが空港で出迎えてくれホテルへ、その夜はソロ市で宿泊。

翌日 6/23

Kさんの案内でソロ市内観光。Kさん経営の日本語学校やフルーツマーケットを見学、途中で買った果物をKさんの家で頂きました。Kさんのご両親、奥様、子供さん、皆さん温かく私達を迎えてくださいました。(感謝)

市内を歩いていて街路樹がマンゴーなのにビックリ！豊かな自然を感じました。午後はバティック店を見学。

その夜もソロ市泊。

6/24

チャーターしたミニバスでジョグジャカルタへ。途中日本語ガイドのAさんが加わり

プナンバナナ寺院群、ジョグジャカルタ王宮を見学。

午後からバティックマーケットへ 私も2枚自分の為に買いました。夜、4人はインドネシア伝統舞踊を観に行きました。

ジョグジャカルタ泊



6/25

この日は世界3大仏教遺跡の1つポロブドール寺院（世界遺産）へ。立派に周りが整備されていてさすがに世界遺産。一枚一枚石に彫られている物語をAさんの説明で納得。全員頂上まで登りました。

寺院の入口で多くの物売りの人達がおり熱心に売り込んできました。その中の1人が私に声をかけてきて、日本語で「わたしアリババ覚えていてね」と、この遺跡は入口と出口が別なので私は適当に答えて入って行きました。でも出口で「私アリババ」と声を掛けられてビックリしました。

彼は多くの観光客のなかで私を見つけたのです。彼の売っているのはポロブドール寺院の絵葉書。最初は10枚で100,000ルピア(800円)最後は20枚で100,000ルピア。私はとうとう根負けして買ってしまいました。その後アンバラワのサーバスホスト、Aさんの家へ。 Aさん宅泊

6/26

この日はAさんの家族とデイホスト（M?名前がよく分かりません）と山の温泉へ。

途中からインドネシアのサーバス2人も同行。ラマダンが終わったばかりでテーブルには多くのスナック菓子が置かれていました。 Aさん宅泊

6/27

帰国のため昼前にAさん宅を出発スマランから飛行機に乗り無事に6/28帰りました。

皆さんお疲れ様でした。

私の感想ではインドネシア料理は食べやすかったです。特にナシゴレンはチャ-ハンに似ていました。また、同じ火山国ですが台風が無いとのこと。いいですね。

#### 4. 九州支部会員情報

##### ○ 新入会員紹介

T.F.さん 福岡県中間市

A.S.さん 宮崎県宮崎市

N.K.さん 熊本県熊本市

##### ○ 休会

T.A.さん 熊本県合志市

お仕事がお忙しく休会されることになりました。長い期間にわたって「世界一周旅行」のレポートを会報に書いてくださりありがとうございました。また、Tさんは熊本県の担当者としてお世話をしてくださっていました。その後任をM.S.さんをお願いしましたところ快くお引き受け下さいました。どうぞよろしく願いいたします。

- 九州支部会員数 47 家族（福岡 11名、佐賀 6名、長崎 8名、熊本 3名、大分 11名、宮崎 6名、鹿児島 2名）

#### 5. 九州支部からのお願い

## (1) レポートについて

サーバス旅行や、トラベラー受け入れをされた場合はその時の様子をぜひレポート（簡単な一口コメントでも結構です）にしてお送りくださるようお願いいたします。会報に掲載させていただきます。

## (2) 「折り鶴」プロジェクトについて

九州に来られたトラベラーに「原爆の子の像」に奉納された「折り鶴」をお分けする試みです。学童が折った折り鶴と英文の説明がついています。トラベラーの受け入れ予定がある方は、前もってお知らせください。折り鶴セットをお送りします。

## (2) トラベラー受け入れ報告

トラベラーを受け入れた場合はその都度日本サーバスのホームページにあります「トラベラー受け入れ報告」より入力ご報告ください。入力報告の内容は自動的にメールでご自分の元に届きます。これまで年度末に支部長にトラベラー報告をしていただいていたのですが、このページを利用する事で、その報告は不要となります。

分からない方は、今までのようにご報告ください

- ①トラベラーの国名、
- ②トラベラーの名前、
- ③ステイされた人数、
- ④受け入れ期間：○年○月○日～○年○月○日、○泊○日、
- ⑤一言感想をメモしておいてください。年度末に行われる日本サーバスへの報告に必要です。受け入れられたらすぐ支部長宛てにメールをくださっても構いません。

## 6. 九州支部連絡先(常掲)

発行日：2018年7月 17日（180号）

発行者：サーバス九州支部長  
T. Y.

### 【会費、認定料等の送金は以下にお願いします】

- 郵便口座をお持ちでしたらその口座からサーバス九州事務局の郵便口座へは送金手数料無料で振り込みできます。  
記号：17240 番号：17160361  
名称：サーバス九州事務局
- 銀行から振り込む場合 送金手数料は有料です。  
店名：七二八（ナナニハチ）  
店番：728 種類：普通  
番号：1716036（有料）（これには末尾1不要）
- ◎ 会計担当：H. S.